

2010年8月30日

2010年JVCA投資動向調査（第2四半期レポート）

日本ベンチャーキャピタル協会
調査・研究委員会

1. 集計対象

JVCA 会員 58 社へアンケート形式で実施。

アンケート回答社数 42 社の協力を得て、2010 年 4 月～6 月（第 2 四半期）の VC 投資実績について集計を行いました。

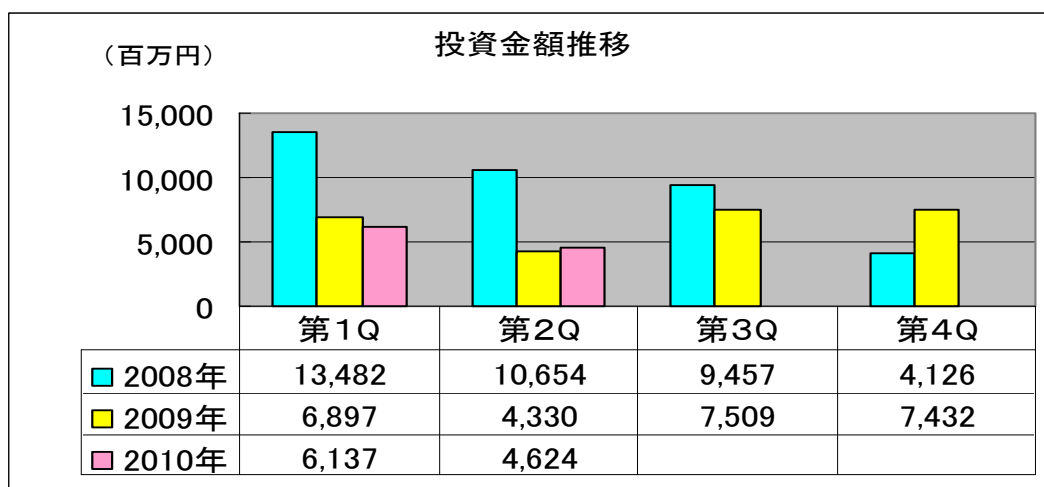
（注：2010 年第 1 四半期の回答社数 41 社、2009 年第 4 四半期の回答社数 38 社、2009 年第 1 四半期～第 3 四半期の回答社数 40 社、2008 年第 1 四半期～第 4 四半期の回答社数 35 社）

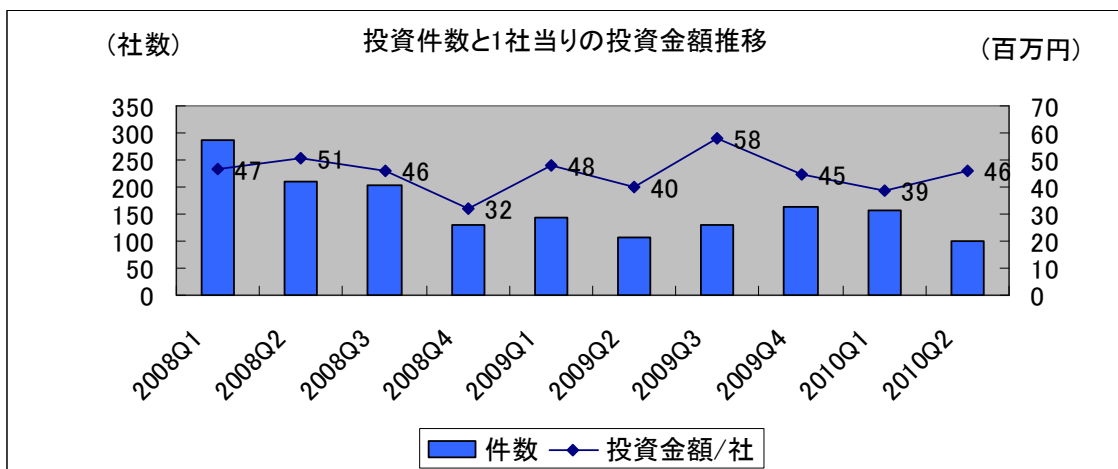
2. 調査結果概要

(1) 2010 年第 2 四半期の投資金額と投資件数

投資金額は 46 億円で、前年同期比（2009 年第 2 四半期の投資金額は 43 億円）若干増加した。しかし前四半期比（2010 年第 1 四半期の投資金額は 61 億円）では 25%減少しており投資金額の増加基調は未だ読み取れない。

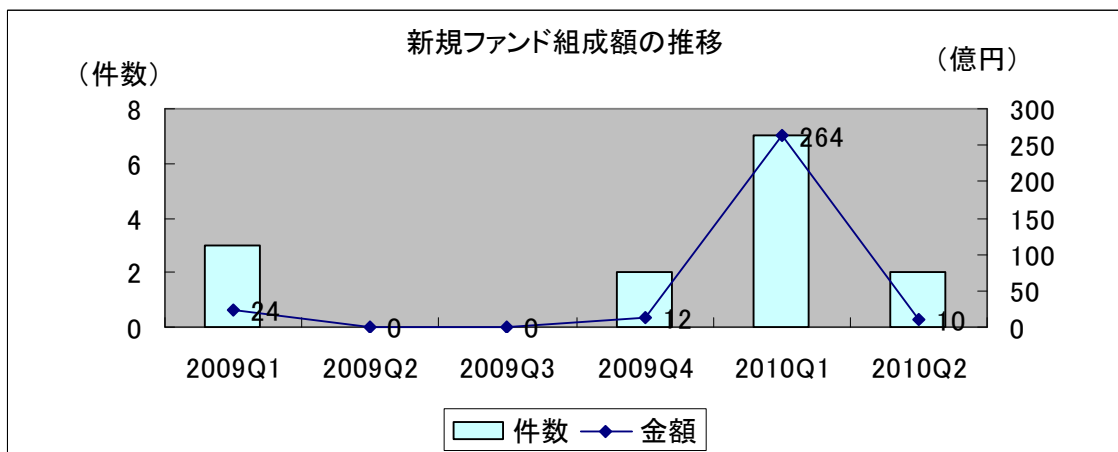
一方投資件数は 101 件で前年同期比（2009 年第 2 四半期の投資件数は 107 件）を下回り、2008 年から調査し始めた四半期調査の最低件数となった。また前四半期比（2010 年第 1 四半期の投資件数は 158 件）でも 36%と 1/3 強の減少。1 社当りの投資金額は 46 百万円で前年同期（40 百万円）比増えているが、この要因はステージ別投資比率でより資金が必要なエクспанションステージの割合が増えてきたことに起因するものと考える。





(2) 新規ファンド組成額の状況

第1四半期は久しぶりにファンドの組成が7件264億円あったが、第2四半期は2件の10億円に留まり、未だ低調な状況下ありファンド組成活動は厳しい状態が続いている。

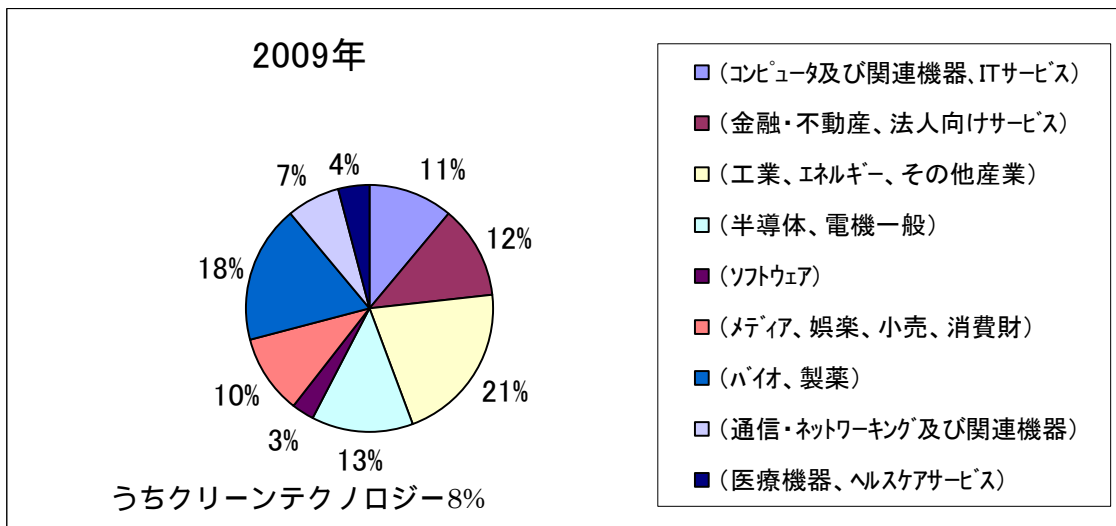
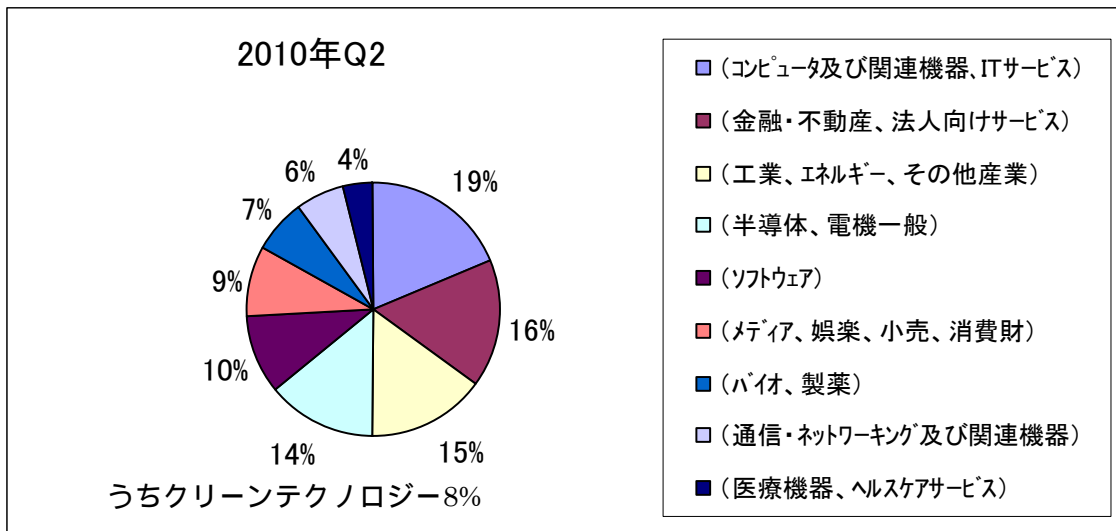


注) 今回の新規ファンド組成は、アンケートに回答のあったVC42社の集計

(3) 業種別投資比率

2009年と比較して5%以上増えた業種はコンピューター及び関連機器、ITサービスの8%(11% 19%)とソフトウェアの7%(3% 10%)であり、逆に5%以上減った業種はバイオの11%(18% 7%)と工業、エネルギーの6%(21% 15%)であった。

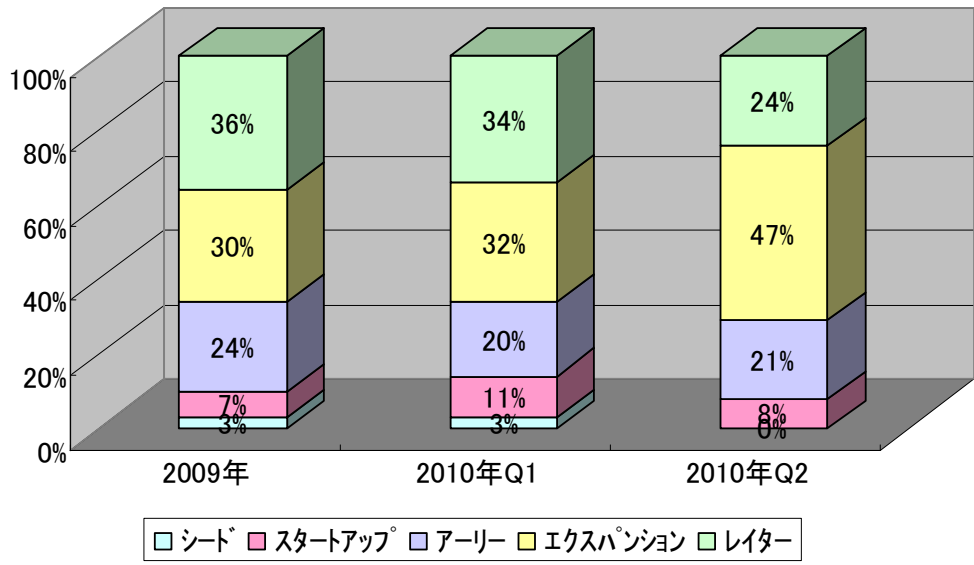
クリーンテクノロジー関連の投資は8%で2009年の比率と同様であった。



(4) ステージ別投資比率

2009年の傾向で確認されたエクспанション・レイターステージステージへの投資シフトが、更に顕著となり2010年第2四半期ではシードステージの投資が調査開始以来初めてゼロとなり、エクспанション・レイターステージステージへの投資比率が71%と過去最高となった。

ステージ別投資比率推移



以上